

早池峰地域(握沢地区)に防鹿柵(植生保護柵)を設置しました。

令和5年5月24日

岩手県宮古市 門馬山国有林 323 林小班外

「早池峰山周辺森林生態系 保護地域」周辺では、ニホンジカによる食害の拡大しており、貴重な植物への影響が懸念されることから、地域住民等で構成される「早池峰地域保全対策事業推進協議会」と連携した防鹿柵(植生保護柵)の設置等取組みを行っています。

令和5年5月18日天候の良い中、宮古市門馬 門馬山国有林323林班外(握沢コース)で平成30年度から設置した植生保護柵の網上げを当署職員(8名)で行いました。

握沢コース登山道を1時間30分ほど歩き、2か所の植生保護柵の網上げ、センサーカメラ2台を取付け後、登山道を少し上りニホンジカによる食害状況の確認をしています。

また、5月24日には職員17名で小田越コースを1時間30分ほど登った植生保護柵440mの網上げに登山しましたが、写真4のとおり残雪ため一部の網上げとなりました。

作業は、昨年秋に積雪等による防鹿柵の破損防止のため外したポールの設置、地表に降ろした網を上げる作業ですが、資材の破損もあるため資材を運搬、残雪の無い4分の1程度の網を張り設置してきました。

「早池峰山周辺森林生態系 保護地域」における希少植物を未来へ残すため、署が一丸となり取り組んでいますが、柵内にはシカの糞もあり維持・管理の大変さを痛感し、山の陰しさのため人界戦術での保護柵の設置作業、管理には限界が来ている現状があります。



握り沢コース1 (写真1)



握り沢コース2 (写真2)



小田越コース登山状況 (写真3)



残雪のため一部を設置 (写真4)